

2024～2025年度

出雲中央ロータリークラブ

委員会活動計画

(1) クラブ管理運営委員会

委員長 児玉 治

副委員長 久屋 貴弘

【活動方針】

出席・親睦、会報・記録、プログラム委員会と協力して、それぞれの委員会事業が充実するようサポートします。

【実施目標】

クラブ管理運営委員会を適宜開催します。

(a) 出席・親睦委員会

委員長	梅野宏美
副委員長	杉原龍馬
委員	飯塚野乃花、糸賀 雅、小林和夫、 宮本晋吾、岡 英司、高橋 敦、 谷口洋平、吉井光生

【活動方針】

「まずはやってみよう～未来の出雲のために～」クラブ年度テーマ実現の為に、基本方針の遂行・サポートをする。

【実施目標】

1. 親睦を深められる事業の実施。
2. 在籍年数の浅い会員との親睦を深める。
3. S A Aとの連携による例会設営を行う。
4. 地区大会・I Mへの参加の促進。
5. スマイルの掘り起こし。

(b) 会報・記録委員会

委員長	石田泰寛
副委員長	池淵俊雄
委員	朝山 裕、岸 篤彦

【活動方針】

例会やクラブ活動等の記録・保存を基本に、会員にとって読みやすい会報を作成する。

【実施目標】

会報作成の効率化や動画を含めたデータ整理の向上に努める。

(c) プログラム委員会

委員長	塩野 稔昭
副委員長	鳥屋尾征幹
委員	朝山 一玄

【活動方針】

- ・ 会員の皆さまにとって有意義な講師卓話を計画します。
- ・ クラブ活性化のため「ゆったり例会」を開催します。

【実施目標】

- ・ 会員による卓話、外部講師を招いての卓話を行います。
- ・ 「ゆったり例会」を活用し親睦プログラムを開催します。

(2) 会員増強委員会

委員長	山根 宏行
副委員長	鳥屋尾恭一
委員	北脇 樹二

【活動方針】

新入会員候補者に対して、積極的に勧誘活動を行う。

クラブ会員に会員増強の大切を改めて認識してもらい、退会防止、新会員候補者の情報を共有する。

他団体との情報共有を図り、単年度にとどまらない持続発展的な活動を目指す。

同好会等へのゲスト参加を通して懇親を図り、入会しやすい雰囲気を作る。

【実施目標】

会員純増2名を目指す。

女性会員候補への積極的な勧誘を行う。

新会員候補者リスト、クラブPR資料の作成を行う。

(3) ロータリー広報・雑誌委員会

委員長 荒木光治

副委員長 伊藤直子

委員 森山 勝

【活動方針】

ロータリークラブに関する理解を深めるために、情報収集と提供に努める。

【実施目標】

- ・ロータリーの友の紹介を毎号行う。
- ・新会員インフォメーションを実施する。
- ・クラブ活動は実施後、マイロータリーのロータリーショーケースに入力、情報公開する。

(4) 奉仕プロジェクト委員会 (d) 職業奉仕委員会

委員長	伊藤 浩
副委員長	松尾貴久
委員	浅津博行

【活動方針】

職業奉仕についての理解を深める活動を行う。

【実施目標】

1. 職場訪問例会を実施し、会員の仕事について理解を深める。
2. 市内の学生に職業について知ってもらうプロジェクトを検討する。

(e) 社会奉仕委員会

委員長	米原啓介
副委員長	内田政智
委員	堀江卓史

【活動方針】

ロータリアンとしての社会奉仕について理解を深め、これまでの活動の継続と検証を行うとともに、新たな活動の方向づけをする。

【実施目標】

- ・前年度事業の検証と今後の方針の検討。
- ・地域社会のニーズ把握および今後の事業の方向性の検討。
- ・社会福祉協議会のフードドライブ事業への協力。

(f) 国際奉仕委員会

委員長	高橋英一
副委員長	山根一生
委員	今岡余一良 矢田信一

【活動方針】

国際社会の見識を深めて、今後の国際奉仕について検討する。

タイ米山学友会及びブサコーンさんとの連携を図る。

【実施目標】

- ・ 地区世界社会奉仕資金（DWCS）を活用した国際奉仕について検討する。
- ・ タイ又はベトナム等への視察。
- ・ 出雲市在住の外国人に、例会行事で卓話をしてもらう。

(g) 青少年奉仕委員会

委員長	阿川嘉明
副委員長	廣原俊平
委員	古瀬俱之、 牛尾尚正

【活動方針】

青少年の健全なる育成に寄与する。

【実施目標】

1. 市内の小中高生を対象とした地区補助金事業「吹奏楽クリニック」の開催。
2. 会長方針にそった企画を考える。

(h) 米山記念奨学会委員会

委員長	石橋慶一
副委員長	伊藤 暢
委員	影山和夫

【活動方針】

会員の皆様に米山記念奨学会について理解を深めていただき、協力をお願いする。

【実施目標】

- ・米山月間に因んだ例会行事を行う。
- ・米山ランチを3回実施し、浄財を米山記念奨学会に寄付する。
- ・一人あたり普通寄付 5,000 円、特別寄付 10,000 円以上をお願いする。

(5) ロータリー財団委員会

委員長	塩野和正
副委員長	金山 均
委員	山口孝之

【活動方針】

世界の人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め。貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにするという、ロータリー財団の使命に協力するため、会員に財団の活動プログラムについての情報を積極的に提供して、理解を深めてもらい、寄付を募ります。

【実施目標】

1. 年次寄付 150 ドルの協力を会員全員に依頼します。
2. 恒久基金への寄付 1,000 ドルを会員に依頼します。
3. ポリオランチを 13 回実施し、ポリオプラス寄付を一人 30 ドル行う。
4. ロータリーカード取得率向上を目指す。
5. 地区補助金事業のサポートと申請を行う。
6. 災害救援基金について協力する。

(6) クラブビジョン委員会

委員長 北脇樹二
副委員長 児玉 治
委員 日野幹雄、石橋慶一、久屋貴弘、
永田数子、内田政智

【活動方針】

創立 40 周年に向けた出雲中央ロータリークラブの在り方の検討。

【実施目標】

1. 2026-2027 年度以降のクラブリーダーの推挙と選考。
2. ビジョン声明進捗状況の検証。
3. 会員満足度調査の実施。
4. 35 周年記念事業に向けての研究。
5. 浜松ハーモニーロータリークラブとの交流方法の研究。

(7) S A A

S A A 伊藤 暢

副S A A 飯塚野乃花

【活 動 方 針】

皆様が気持ちよく過ごせる未来のための例会運営。

【実 施 目 標】

1. 例会が円滑に進むよう、会長、幹事、委員長と協力して運営に努めます。
2. 会員相互の親睦と交流を図る事が出来る、心地よい雰囲気づくりに努めます。
3. ゲスト、ビジターの皆様への対応にも行き届いた配慮とおもてなしの心でお迎えします。

(8) 会 計

会 計 鳥屋尾恭一

【活 動 方 針】

クラブ資金の健全な管理運営に努め、適正、公平、かつ厳正な予算の執行を行います。

【実 施 目 標】

1. 会費の徴収

- ・会費は一人年額 264,000 円（月額 22,000 円）とし、3 ヶ月毎に 66,000 円、分割徴収します。
- ・徴収は、会員指定の金融機関の口座振替により、明確を期します。
- ・徴収に先立ち、内訳明細書を会員に配布し、事前に通知します。

2. 新入会員の会費の徴収

- ・入会時までに入会金 50,000 円を納入していただきます。
- ・入会月から会費を徴収します。

3. 来訪者（ビジター）負担金は 2,000 円とし、その都度徴収します。

4. 負担金及び納付金のうち、会員数を基準とするものは、7月1日と1月1日時点の会員数により納付します。

5. スマイル会計は特別会計とし、別途処理します。

各会員の誕生日、結婚記念月にはスマイルとして一律 3,000 円いただきます。

6. 会計処理は収入、支出とも科目別に分類し、予算額と執行額を記録し、常に予算残高を明確にします。

7. 予算の執行状況は随時、理事役員会に報告します。

年度末決算については監査を受け、理事役員会の承認を得て、会員に報告します。